

奏楽堂シリーズ
東京藝術大学 弦楽シリーズ2014



東京藝術大学

生誕150年

R・シュトラウスの弦の響き

Richard Strauss (1864~1949)



《チェロ・ソナタ》 へ長調 Op.6

チェロ：河野 文昭

ピアノ：伊藤 恵

《ヴァイオリン・ソナタ》 変ホ長調 Op.18

ヴァイオリン：ピエール・アモイヤル

ピアノ：江口 玲

歌劇《カプリッチョ》 Op.85より

〈序曲〉 (弦楽合奏版)

23人の独奏弦楽器のための

《メタモルフォーゼン (変容)》

弦楽合奏：GRS23

指揮：澤 和樹

2014年7月12日(土)

15:00開演 (14:30 開場)

東京藝術大学奏楽堂 (大学構内)

入場料 2,000円(全席自由)

※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。
※就学前のお子様同伴・入場はできませんので、ご了承ください。

[チケット取り扱い]

◆藝大アートプラザ TEL:050-5525-2102

◆ヴォートル・チケットセンター TEL:03-5355-1280 <http://ticket.votre.co.jp>

◆東京文化会館チケットサービス TEL:03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp/ticket>

◆イープラス (+) <http://eplus.jp>

◆チケットぴあ TEL:0570-02-9999 <http://t.pia.jp> (Pコード: 227-676)

(一部携帯電話・PHS・IP電話はご利用いただくことができません)

[お問い合わせ]

◇東京藝術大学演奏芸術センター TEL:050-5525-2300

◇東京藝術大学ホームページ <http://www.geidai.ac.jp>

主催：東京藝術大学演奏芸術センター・東京藝術大学音楽学部

生誕150年 R.シュトラウス(1864~1949)の弦の響き

弦楽シリーズ2014では、今年が生誕150周年にあたるリヒャルト・シュトラウスの代表的な弦楽作品を取り上げる。R.シュトラウスといえば、交響詩《ドン・ファン》《英雄の生涯》といった壮麗な管弦楽法や、オペラ《エレクトラ》《薔薇の騎士》などにおける職人的な楽器の扱いが際立つが、なかでもコンサートマスターや首席奏者たちによる弦楽器のソロの見事さは比類がない。

プログラム前半では、弦の卓越した扱いの礎となった青年期の《チェロ・ソナタ》(1883年)と《ヴァイオリン・ソナタ》(1888年)を、チェロの河野文昭教授、そして招聘教授のピエール・アモイヤル氏の演奏でお聴きいただく。《ヴァイオリン・ソナタ》の名人芸的な作風と濃厚なロマンティズムは、J.ハイフェッツによる歴史的名盤がヴァイオリニストにとって憧れの存在だが、ハイフェッツの高弟としても名高いアモイヤル氏による演奏も楽しみだ。そしてコンチェルト並みの充実したピアノ・パートは、藝大ピアノ科が誇る伊藤恵教授、江口玲准教授が担当。若き日のリヒャルトの野心に満ちたデュオを満喫していただきたい。後半では、最後のオペラ作品《カプリッチョ》(1941年)から〈序曲〉を弦楽合奏版で、そして敗戦濃厚な第二次世界大戦終結直前に書かれ、犠牲者への想いと祖国ドイツ崩壊への悔恨が、「エロイカ」の葬送行進曲へとテーマを変容させる、23人の独奏弦楽器奏者のための《メタモルフォーゼン》(1945年)が、弦楽科教員、卒業生、学生からなる23人のソリスト集団、「GRS 23」によって演奏される。「GRS」とはGeidai Richard Straussのイニシャルである事は容易に想像できるが、席順が「総選挙」によるものかどうかは謎だ。乞う御期待!

澤 和樹(東京藝術大学音楽学部長・弦楽専攻教授)

出演者プロフィール(出演順)



河野 文昭 Fumiaki KONO (チェロ)

京都市立芸術大学音楽学部卒業後、ロサンゼルスとウィーン国立音楽大学に学ぶ。この間1981年日本音楽コンクール第1位、83年ガスパール・カサド国際チェロ・コンクールのファイナリスト。ベートーヴェンのチェロを含む室内楽の全曲演奏からL.ベリオの《セクエンツァXIV》の日本初演まで、幅広いレパートリーをもつ。90年京都音楽賞、92年大阪府文化祭賞などを受賞。東京藝術大学音楽学部教授。



伊藤 恵 Kei ITOH (ピアノ)

ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学とハノーファー音楽大学に学ぶ。ロン=ティボー国際コンクールなどに入賞後、1983年ミュンヘン国際音楽コンクールに日本人として初めて優勝。以来、国内外で活躍するかたわら、シューマン・ピアノ曲全曲録音「シューマニアナ」など録音多数。武生国際音楽祭プロデューサー。東京藝術大学音楽学部教授、桐朋学園大学音楽学部特任教授。



ピエール・アモイヤル Pierre Amoyal (ヴァイオリン)

12歳で1等賞を得てパリ国立高等音楽院を卒業。17歳で渡米し、J.ハイフェッツのもとで5年間学ぶ。帰国後、22歳でG.シオルティ指揮のパリ管弦楽団と共に国際的にデビュー。H.vonカラヤン指揮ベルリン・フィルをはじめ、著名な指揮者・オーケストラと共演。多彩な演奏活動のかたわら、最年少の28歳でパリ国立高等音楽院教授となった後、2014年春までローザンヌ高等音楽院教授を務めた。東京藝術大学音楽学部招聘教授。



江口 玲 Akira EGUCHI (ピアノ)

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、ジュリアード音楽院ピアノ科大学院修了。国内外での独奏活動のかたわら、G.シャハムらの伴奏など室内楽の分野で国際的に活躍し、ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリン・コンクールでシュヴァイツァー賞、インディアナポリス国際ヴァイオリン・コンペティションではベートーヴェン・ソナタ賞を受賞。東京藝術大学音楽学部准教授、洗足学園音楽大学大学院客員教授。



澤 和樹 Kazuki SAWA (指揮)

東京藝術大学音楽学部を安宅賞を得て卒業後、同大学院修了。ロン=ティボー、ヴィエニャフスキ、ミュンヘンなどの国際コンクールに入賞。イザイ・メダル、ボルドー音楽祭金メダル受賞などヴァイオリニストとして国際的に活躍。1996年より指揮活動を開始。2003年、04年には響ホール室内合奏団、05年には東京弦楽合奏団を率いて英国各地で演奏し絶賛される。九州交響楽団、東京フィル、日本フィルにも客演し、好評を博す。04年和歌山県文化賞受賞。東京藝術大学音楽学部長・教授。

東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8

交通のご案内

- ・ JR上野駅(公園口)・鶯谷駅(南口)、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
- ・ 京成線上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩15分
- ・ 台東区循環バス「東西めぐりん」

②上野駅・上野公園から(東京芸術大学経由)→⑤東京芸術大学下車 [30分間隔]

※駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮ください。
※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がございますのでご了承ください。
※就学前のお子様の同伴・入場はできませんので、ご了承ください。

